

事務事業の段階
 計画 事業化 事業 管理

個23事04

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港湾管理事務所長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト	連絡先 052-398-0503	港営課、工事課、港湾工事事務所
個別施策名	23 港湾施設の機能を維持・強化する	継続	維持	維持	連携先 052-398-0503	
事務事業名	04 荷さばき地の管理運営(コンテナターミナルを除く)	継続	維持	維持	事業期間	昭和36年度～継続
目的	荷さばき地を適切に管理し、効率的に使用します。				根拠法令等	名古屋港管理組合港湾施設条例
概要	施設の使用状況を把握し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を実施します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	①使用許可申請書の受理、②利用調整、③現場確認を実施し、施設の使用状況の確認、④港湾管理情報システムへの使用実績の入力、⑤利用者からの要望により、施設損傷等の不具合が生じた場合は緊急度に応じた補修を行います。				関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	巡視により施設の使用状況を把握することにより、申請書の未提出をなくし、また、施設の損傷の有無に注意を払い適切に管理をしました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	14,856	7,431	22,925	16,156	54,600	(款項目節) ・金城ふ頭荷さばき地補修工事 ・弥富ふ頭荷さばき地照明設備改修工事 ・金城ふ頭荷さばき地給水管補修工事
一般会計	千円	14,856	7,431	22,925	16,156	42,644	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	26,310	25,746	24,595	23,274	23,533	(その他)
正規職員	人	3.00	3.00	2.90	2.70	2.70	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	41,166	33,177	47,520	39,430	78,133	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
施設提供率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	(荷さばき地提供面積×日数)÷ (荷さばき地総面積×日数)
	実績	97.9	92.9	93.3	99.9	100			
	達成率(単年度%)	97.9	92.9	93.3	99.9	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
施設使用率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	使用料÷有効面積金額
	実績	60.0	41.0	46.0	41.0	41.3			
	達成率(単年度%)	60.0	41.0	46.0	41.0	41.3			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						・港湾施設条例に定められた施設であり、施設所有者として適正な管理が必要 ・船荷役には、荷さばき地は必要な施設であり、入港船があれば100%に近い利用があります。 ・荷役の特殊性から関与する必要があります。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input checked="" type="checkbox"/> □						・施設利用率の目標は、100%自体無理があると思われます。 ・上記の理由により、目標は達成できませんでした。 ・利用者の利便性等を考慮し、利用率を上げる努力をしました。	
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input checked="" type="checkbox"/> □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						・広範囲にわたり存在する施設を、少人数で管理運営しています。 ・平成7年の条例改定により料金改定がなされたが、暫定料率が継続されています。 ・荷役の特殊性から効率的な運営主体となっています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input checked="" type="checkbox"/> □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
維持経費の増大が見込まれる状況において、暫定料率の見直しについて関係部署に働きかけていきたいと思ひます。良好な施設提供を確保するために、区画線表示の劣化箇所を計画的に補修していく予定です。また損傷発生時におきましては、適切な利用者調整及び速やかな補修により施設利用者への支障を最小限に止めるように対処していきます。				